

# 運送業界の健康支援を生きがいに

## 170 聴力低下を招く肥満

「メタボの人は聴力低下になりやすい」という大変興味深い研究発表が、先日新聞で紹介されました。研究は国立国際医療研究センターなどの大規模なもので、聴力は高音・低音とも)肥満度が高くなるほど低下をきたすという内容です。研究グループは「動脈硬化で血管が狭まるなどして耳への血流が減少すること」「肥満に伴う酸化ストレスにより、聴覚細胞が損傷する」などが、聴力低下に影響すると述べています。

■聴力チェックも忘れずに  
ここで「運送業務と聴力」について触れたいと思います。最近ではハンズフリーという便利なものがあります

が、ある事業者では立て続けに「ハンズフリー装着時に事



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表  
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>

故が起きた」ことを受け、使用禁止を検討しているそうです。窓を開けて遮断機の音を聞く、車の故障を察知する振動やエンジン音を聞くなど、聴力は安全運転の基本行動に直結します。視力の重要性は多くの人が認識していると思いますが、ドライバーの高齢化が急速に進展している中、聴力は視力と同様に益々重要なチェック項目になります。運輸ヘルスケアナビシステムでは、メタボリックシンドローム(肥満・高血圧・脂質異常・血糖値)同様、聴力と視力も治療対象者には赤、軽度者には紫で表示していますので、ぜひご活用ください。

■聴力・メタボのイエローラインは50歳代  
先般、冒頭の研究発表の信ぴょう性を探るべく、本システム内のドライバー2349人の聴力における有所見率を調査してみました。その結果、大変アバウトながらも55歳では3人に1人、60歳では2人に1人が有所見者であることが判明しました。すでにメタボリックシンドロームの項目では、50歳代のドライバーの4人に1人がハイリスク者(3重奏と4重奏)であることが判明していますので、今回の発表が妙にリアル感を持って伝わってきました。

■両輪会のテーマは高齢化と健康を推進する協議会(両輪会)の次回のテーマは「運輸業界の高齢化への対応と働き方」です。高齢ドライバーに焦点を当てて、ナビシステム内の健診結果の現状や、事業者の事例を紹介しながら進めます。皆様のご参加をお待ちしています。(詳しくはHPをご覧ください)

(次回は9月9日に掲載)